

いわて連携復興センター 設立趣意書

<設立目的>

本団体は、東日本大震災において特に甚大な被害のあった岩手県沿岸部の復興に向け、全国からの様々な支援と、自立・復興のためにその支援を必要とする人を結ぶとともに、必要な情報・技術を提供し、被災された地域住民の方一人ひとりが前向きに地域復興に向け歩むことのできる環境を構築することを目的とします。

<事業テーマ>

「復興」と「自立」

本団体は、「救援」「救済」「レスキュー」といった、被災者の方の「援助」は行いません。

10年、20年の長期的な視点、あるいは、「1年後に自分の店を再建する」といった短期的な視点を含め、被災された方が、復興に向けた仕事をし、その結果の収入を得て、その仕事と収入が前向きに循環することによって、復興につながる仕組みの構築を支援します。

「復興の主役は地域住民」

本団体は、被災者である地域住民が主体的に復興に向けた事業を行うことのできる環境づくりと支援を行います。地域住民の皆さんができることを最大限復興に活かし、持続的な事業展開につながるお手伝いをします。

＜本団体の特徴＞

「中間支援組織」

本団体は、中間支援組織として、被災された個人・団体が復興に向けた仕事と収入を構築するお手伝いをする団体です。具体的には、以下の活動を行います。

○各種支援情報、助成情報の一元化と情報発信

政府機関、都道府県、各種助成・支援団体や全国の支援ネットワーク、そして各企業等の支援情報を一元化し、わかりやすく地域にいる被災者の方にお伝えします。

○被災者である地域住民の「できる」「やってみたい」の掘り起こし

復興に向け、支援・助成情報を提供するばかりではなく、その支援を使えば、具体的にはどのような本来の生業を復興できるか、コミュニティビジネスを立ち上げられるかについて付帯情報を提供します。

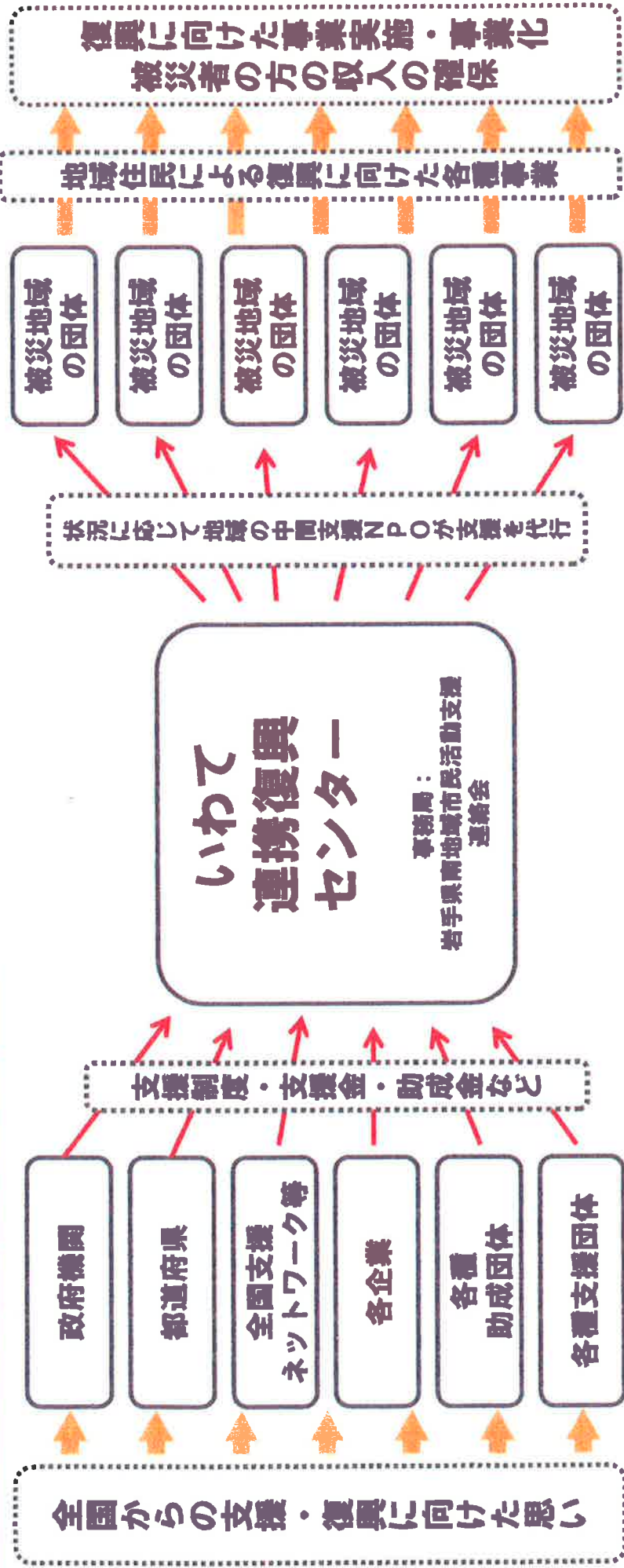
○「支援・助成」と「できる」「やってみたい」のマッチング

やってみたいと思われた方と、それに近い支援、助成を結びつけます。また、助成金や各種支援においては、申請や報告における書類作成のフォローや、より効果が得られるための企画アドバイス等も行います。

○「地域住民による復興に向けた事業実施」のお手伝い

各事業における立ち上げ期はもちろん、様々な専門性を持つアドバイザーのフォローにより、事業化に向けた支援を継続的にを行います。

いわて連携復興センター事業イメージ



いわて連携復興センターの主な事業内容

- ・各種支援情報、助成情報の一元化と情報発信
- ・被災者である地域住民の「できる」「やってみたい」の掘り起こし
- ・「支援・助成」と「できる」「やってみたい」のマッチング
- ・「地域住民による復興に向けた事業実施」のお手伝い

上記事業を県内の中間支援NPOを中心とする連携団体と一緒に実施し、より多くの復興に向けた事業のお手伝いをします。

いわて連携復興センター 連携団体(案) ※順不同

- 県内市町村
- 岩手県
- 岩手県ライオンズクラブ
- 岩手県ロータリークラブ
- 岩手県青年会議所
- 各種大学 等
- 各企業 等
- (NPO)アットマークアリアスNPOセンター
- (NPO)夢ネット大船渡
- (NPO)アイデザイン
- (NPO)風・波デザイン
- (NPO)花巻市民活動支援センター
- (NPO)いわてNPO-NET
- (NPO)レスパイトハウス・ハンズ
- (NPO)やませデザイン会議
- (NPO)カシオペアNPOサポートセンター
- (NPO)いわて地域支援センター

※連携団体は、随時募集をしております。事務局までご連絡ください

いわて連携復興センター 復興にかかると事業イメージ (第1次)

イメージ1:被災地・避難所で行っているサービスを復興に向けたコミュニティビジネスへ転換を支援

被災地で行われているさまざまなボランティア活動を「仕事」として、被災された方が担い、復興に向けた活動を行うことで、多少なりの収入を得ることのできる仕組みをつくる

